

作物生産学特論演習Ⅰ (2単位)

担当者氏名 本橋強・丹羽克昌・西尾善太

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

作物生産学特論演習Ⅰでは作物生産学特論Ⅱをふまえ、海外論文の文献紹介、ディスカッション、技術習得およびプレゼンテーション等を実施することにより、修士論文に対する研究課題の意義・位置づけ、研究のアプローチ法(研究の理論、技術の習得)、論文作成法(日本語および英語での文章表現)ならびにプレゼンテーション法(学会発表)などについて理解・習得させ、学会・修士論文発表会で問題なく発表できることを到達目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

遺伝学

育種学

遺伝子工学

ゲノム工学

染色体工学

分子細胞遺伝学

植物組織培養

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	海外文献紹介 (第1~4週)	・海外文献を主とした論文紹介を行い、ディスカッションする。	・研究分野の論文収集とその理解に努めさせる。
2	研究のアプローチ法 (1) (第5~6週)	・研究で用いられる実験の理論を理解させると共に、技術的指導をする。	・研究理論・手法をきちんと把握する。
3	論文作成法 (第7~13週)	・修士論文作成に当たり論文作成法・文章表現を指導する。	・修士論文を作成するための図・表作成技術の向上。
4	プレゼンテーション法 (2) (第14~15週)	・研究成果を発表させる。	・研究成果を発表し、検討を加える。 ・毎日の実験結果を要領よく纏めておく

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

遺伝・育種学、分子生物学に関わる専門書を通読すること

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

必要に応じて紹介する

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

出席および質疑応答、ディスカッションなどで総合的に行う。

◆オフィスアワー

本橋強：月、13：00~14：30、丹羽克昌：水、12：10~13：00

◆その他受講上の注意事項

(オフィスアワー※：)

研究成果についてのディスカッションを密に行うので、積極的に取り組んで欲しい。